

第 1 回白馬村社会福祉推進委員会  
(白馬村高齢者福祉計画策定委員会) 会議録 (要約)

召 集 年 月 日	平成 2 7 年 2 月 3 日（火）午後 1 時 3 0 分							
召 集 の 場 所	保健福祉ふれあいセンター 2 階 学 習 室							
開閉会の日時 及 び 宣 言	開会	平成 27 年 2 月 3 日（火）午後 1 時 30 分			福祉 係長	山岸 久美子		
	閉会	平成 27 年 2 月 3 日（火）午後 3 時 20 分			会長	山岸 俊幸		
出 席 者 数	委員数 1 6 名の内 出席者 1 3 名							
出 席 委 員	職 名	氏 名		出欠	職 名	氏 名		出欠
	副会長	澤渡 裕子		出	委 員	西沢 千賀子		出
	委 員	栗田 裕二		出	委 員	田中 輝子		出
	委 員	武田 進		出	委 員	吉沢 篤		出
	委 員	田中 栄一		出	委 員	太田 園恵		出
	委 員	細田 昌義		欠	委 員	今野 清子		出
	委 員	石川 紳		出	委 員	降旗 陽子		欠
	委 員	山岸 圭子		欠	委 員	石田 美和		出
	委 員	石原 綾子		出	会 長	山岸 俊幸		出
事 務 局	健康福祉課 課長		太田 洋一		健康福祉課 福祉係長		山岸 久美子	
	健康福祉課 主幹		内山 明子					
傍 聴 者	なし							

## 1. 開 会

〔事務局：山岸係長〕 開会を宣言した。

## 2. あいさつ

〔下川村長〕 第 1 回策定委員会への出席及び福祉事業の推進に対しお礼を述べ、老人福祉計画策定の協力をお願いした。

## 3. 委嘱書交付 席上配布にて省略。

## 4. 委員及び事務局職員の紹介

「資料 1」委員名簿の順に各委員は自己紹介し、引き続き事務局職員も自己紹介をした。

## 5. 会長及び副会長の選任

〔事務局：山岸係長〕 「資料 2」白馬村社会福祉推進委員会設置要綱に基づき、会長及び副会長の互選を求めた結果、委員から「事務局の腹案は」という発言があり、会長に山岸俊幸委員、副会長に澤渡委員を提案し、承認された。

## 6. 会議運営に関する事項の確認

〔議長：山岸会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：山岸係長〕 「資料 3」会議運営に関する確認事項に基づき、次のとおり説明した。

- 会議は原則として平日の日中開催し、会議時間は概ね 90 分を限度とする。
- 会議資料は基本的に事前配布する。
- 会議及び会議資料は原則として公開する。
- 会議の録音及び写真撮影（ビデオ撮影を含む。）の申し出があった場合は会長の許可を得る。
- 事務局による記名の会議録（要約）を作成し、会長の了承を得て原則として公開する。
- 会議録は事務局で保存し委員の必要に応じて供覧する。
- 協議結果は委員個人の意見ではなく、委員会としての検討結果をまとめる。
- 上記以外に委員会の運営について必要な事項が生じた場合は、その都度委員会で協議する。

〔議長：山岸会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。特に質疑・意見がなく、会議運営に関する事項は了承された。

## 7. 協議事項

〔山岸会長〕 事務局に説明を求めた。

### （2）高齢者を取り巻く状況について

〔事務局：内山〕 順序を入れ替え、（2）高齢者を取り巻く状況について「資料 5」により説明した。

人口・高齢者数の推移及び推計では、年々総人口は減少し高齢者人口は増加の傾向にあり、それに伴い高齢化率も年々高くなることが推測されている。後期高齢者人口が最も多くなるとされている平成 37 年には、人口は約 500 人減少、高齢者人口は 400 人増加、高齢化率は 34.0%と推計。

要介護認定者数の推移及び推計では、毎年 10 人程度増加し平成 32 年では 470 人となり、介護度別では、軽度認定者の増加が大きいと推測される。年齢別では、85 才から 89 才が最も多い。重症度では、軽度認定者が重度認定者を上回っている。また、年代が上がるにつれ認定を受ける割合が増加し、85 才から 89 才では同年代の約半数が要介護認定を受け、高齢になるにつれて重度認定者が増加している。

介護が必要になった原因疾患は、認知症、筋骨格系疾患、次いで脳血管疾患である。治療中の疾患では、心臓病、筋骨格系、高血圧、脳血管疾患の順に多い。

介護保険給付費の推移および推計では、在宅サービス給付費、施設サービス給付費ともに増加すると推計されている。

### （３）高齢者実態調査報告

〔事務局：内山〕 「資料 6」により説明した。

この調査は、3 年ごとに見直しをしている介護保険事業計画を立てるための基礎数値を得ることを目的として、北アルプス広域連合が平成 25 年 12 月から翌年 1 月にかけて実施した。

高齢者等実態調査報告の白馬村分を抜き出して資料にしている。242 人から回答を得たデータであることを説明し、資料に基づき主だった調査結果について説明した。

〔山岸会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔石原委員〕 施設は足りているのか？老人ホームの待機者数は？

〔事務局：内山〕 老人ホームの待機者数は即答できないが、現計画の 3 年間で特別養護老人ホームが新設、増床がされたことで緊急性の高い方などは入所が可能となった。待機者がゼロになった訳ではない。

### （１）現計画の検証について

〔山岸会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：内山〕 「資料 4」により現状と今後の課題について説明した。

地域支援事業の、「まめった講座」「訪問型介護予防事業」では介護予防事業の入口的な役割となっている。「よりえ」「健茶会」は、NPO 法人健学塾に委託等して実施、高齢者の多様な価値観に対応して利用者が大幅に増加した。認知症については、予防には関心があるが、地域全体で支えるには至らない。

「権利擁護」では、日常の金銭管理を受ける方が増えている。「地域ケア会議」開催により、地域の介護職、行政の顔の見える関係づくりができた。「おむつ用品等購入助成」では、現在介護 4、5 に限定されているが、補助範囲を拡大したらどうかと要望がある。

高齢者福祉事業では、「生活管理支援員派遣事業」「軽度生活援助事業」は利用者がなかった。「生活管理指導短期宿泊事業」は介護保険施設入所に該当しない方で家族関係や経済的理由により一時的に入所が必要な方が利用した。「移送サービス事業」では、福祉有償運送制度として実施し定期的な利用があるが、この制度に該当しない程度の高齢者において、外出や受診に支援が必要な方が多いと関係者から情報がある。

健康づくりの推進では、「白馬村健康増進計画」に基づいて実施している。

生きがいくりの推進では、「乗り合いタクシーふれ愛号」の乗車者数が、21 年の開始当初より 2000 人ほど増加したが、開始当時から利用していた層が高齢により利用できなくなったり、現在利用を始める層では、運転ができる者が増加し認知症の疑われる高齢者が運転をしている現状もある。

介護保険事業では、特別養護老人ホームの利用者が、22年に比較して2倍になり入所者が増加した。新設、増床による影響もある。また、有料老人ホームやサービス付高齢者専用住宅に入居する方が増え、自宅で介護されている高齢者が減少。そのため、訪問介護、訪問入浴などの在宅系サービスが減少した。また、訪問看護、訪問リハビリなどは増加した。

〔山岸会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔山岸会長〕 「二次予防事業」と「一次予防事業」の違いは？

〔事務局：内山〕 一次予防は65才以上の元気な高齢者が対象であり、二次予防は放置すると要介護になるおそれの高い高齢者の方が対象である。白馬村では、参加する方の心身の状況により両事業を選択している。

#### （４）計画策定について

〔山岸会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：内山〕 「資料7」により説明した。

計画策定の趣旨は、高齢化社会の進行に伴い、介護に対する不安と負担を社会全体で支え合う制度として介護保険制度が導入され15年が経過したが、介護保険、医療費、年金などの社会保障制度を存続可能とするための方策として、市町村を中心に地域包括ケアシステムの構築の取り組むように、平成26年6月の介護保険法改正において、基本方針が示された。

今回策定する白馬村高齢者福祉計画は、後期高齢者が最も多くなる2025年にむけて、白馬村での高齢者等を取り巻く社会状況や課題を整理、推測し、地域包括ケアの構築および介護保険制度の存続可能な地域に向けて、この時期に目指すべき基本的な政策目標、重点的な取り組み事項について明らかにするものである。

計画の位置づけは、白馬村高齢者福祉計画で、老人福祉法に規定されている老人福祉計画と介護保険法に規定されている介護保険事業計画の両計画は、一体的に策定することとされている。

介護保険の運営は、北アルプス広域連合が保険者となり運営しているため、第6期介護保険事業計画は、北アルプス広域連合が策定し現在策定中であり、その介護保険事業計画と整合した計画とする。

この計画期間は、平成27年度から平成29年度の3ヵ年計画とする。

計画策定のスケジュールは、第2回の委員会で、計画の骨子の検討、計画目標の設定について、委員の皆様にご意見を伺いたい。そこから第3回で計画案の検討をしていただき、計画としていきたいと考えていることを説明した。

〔山岸会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔西沢委員〕 あと2回の会議で、計画策定は無理があるのではないかと？

〔田中委員〕 現在、第5次総合計画を策定中であるため、整合性を図るのは第5次計画ではないかと？

〔事務局：山岸係長〕 当初10月に計画していたがこの時期の開催になり、忙しいスケジュールになるが、

3月末という期限が決まっているため、この間にお願いしたい。

〔事務局：太田課長〕 第5次計画は27年度に策定委員会を立ち上げ、スタートは28年度からになる。高齢者福祉計画は、介護保険事業計画と合わせて3年毎周期である。そのため、27年からの当計画は、第4次総合計画後期計画が上位計画となる。第4次総合計画を検証して上乘せという形で第5次計画になるので全くかけ離れた計画にはならないと思う。

〔石田委員〕 私たち委員は一から検討していくのか？事務局で決めたことを検証すればいいのか？

〔事務局：山岸係長〕 3年ごとに検証している。事務局で提案させていただくので、委員のみなさんから突っ込んだご意見等をいただき、計画の元とさせていただきたい。

〔武田委員〕 前計画に対する総括がない。また新しい計画をたてれば、計画倒れになる。

〔吉沢委員〕 事務局から提案があるというが、短期間で決めなければならないので不安がある。ただ時間があっても、煮詰まるかはわからない。我々の責任具合も理解してもらいたい。

〔武田委員〕 寝たきり老人をいかに減らすか、そのために健康なお年寄りを寝たきりにしないように何をするかが、前計画の骨子だった。老人ホームに入った人が増えたのはどうか。また同じような計画を立てても計画倒れになる。こういう事業をして介護保険料を下げたなど検証したうえで、次の計画を立てた方がいいだろう。

〔山岸会長〕 今回、数字として示したものを、言葉として残した方がいい。

〔事務局：内山〕 特別養護老人ホームに入った方が増えたから、寝たきりの人が増えたとはいえない。必要な方が入所できた。寝たきり予防としては、第一に寝たきりに至るような病気にならないことで、そのために保健分野では、特定健診に力を入れている。高齢者部門でも、看護師の訪問や介護予防事業「よりえ」などを実施している。次回も同じ事業を繰り返していくが高齢者の対象者は随時入れ替わるので、ニーズに合わせて対応していきたい。

総括としては、介護の必要な方は介護保険サービスなどで、家でも施設でも見ていける体制が整った。一人当たりの介護サービスの量をより求めていく傾向があり、介護サービス給付費は増加するのではない。3年間の課題としては、要介護認定を受けるほどではないが、高齢により弱ったり、困っている高齢者をどう支えるかが、2025年に向けた課題。次回計画で生活支援サービスを検討していく。また、高齢者を、元気な少し若い高齢者が支え、支える方も生きがいや介護予防につながるというしくみづくりが必要。

〔武田委員〕 寝たきりにならないためには、働くことがいい。働くことを計画に盛り込んでほしい。

〔田中委員〕 前回の計画がもともになるということか？

〔事務局：山岸係長〕 そうなる。

〔田中委員〕 大変な作業ではあるが、前計画の施策の展開のなかで、大まかでいいので、できたこと、できなかったことを見直した方がいいと思う。

〔石田委員〕 テレビで見たが、県内でボランティアが高齢者の通院や買い物などを有償で支援をしている地域があった。白馬村でも、高齢者実態調査で希望が多かった為、ボランティア団体を立ち上げてそういうことができたらいいいのではないかな。ボランティア人数を多くして、月一回でも参加できたらいいいのではないかな。事故があったときの問題をどう解消するかななどの課題があるが、計画に付け加えられたらいいい。

〔山岸会長〕 白馬村にも、ボランティア団体があり 900 人ほどのボランティアがいる。社協が事務局である。うまくマッチングができないのが実情である。

〔石原委員〕 ボランティアグループはたくさんあり、機能はしているが、情報の公開がうまくいかないと思う。公に見えてこない。ボランティアの要望はたくさんある。こまめに情報を出せる仕組みがほしい。

〔田中委員〕 基本理念、基本目標が大事なので、事務局案を示してもらい各自考えてきていただくようにしたらどうか。

〔石川委員〕 この委員会は策定後も開催するのか？任期は 2 年あるが、見直しや計画の検証をする機会はあるのか？せっかく委員会があるので、途中で検証や振り返りができたら次の計画に反映できていいのではないかな。

〔事務局：山岸係長〕 前回は開催していない。

〔吉沢委員〕 今までの意見を踏まえて、事務局案をまとめてほしい。

〔澤渡副会長〕 この資料をしっかりと読んで、勉強したい。

〔田中委員〕 よく考えたい。

〔西沢委員〕 ページは、通し番号にしてほしい。

以降 質問・意見なし。

〔事務局：山岸係長〕 今後のスケジュールについて説明した。

〔事務局：太田課長〕 貴重な意見をありがとうございます。いただいた意見をもとに、改善し、いい計画にしていこう努力していきたいので、今後も協力をお願いしたい。

## 8 閉 会

〔山岸会長〕 閉会を宣言した。

終了 15：20

以 上